

さいきょうかい しんぱん かぞへ ひと いっしょ よ くだ
* 堺教会 CS 新聞「いずみのひろば」は、ぜひ家族の人と一緒に読んで下さい。



いずみのひろば

2017年11月号
日本基督教団堺教会
No.468 教会学校



「 聖 餐 」

しんじ と てがみ
コリントの信徒への手紙 1 11・23-26

さいご ばんさん い ゆうめい え び
「最後の晩餐」という有名な絵を見たことがありますか？
レオナルド・ダビンチが描いた絵です。

イエスは十字架に掛けられる前の日の夜に、弟子たちと一緒に過ぎ越しの食事をされました。その様子が描かれています。

イエス様はその時、弟子たちの為に新しい食事を決められました。

イエス様はパンを取り、感謝のお祈りをして、そのパンを裂き
「これは あなたがたの為にわたしの体である。」
また次にぶどう酒をおくばりになり、

「これは あなたがたの為に流される、わたしの血である。」と言われました。

そしてこの食事をする度に、イエス様が私たちの罪の為に十字架に掛けられ、
死んで三日目に蘇り、天に昇り、いつも私たちのことを愛し守っていて下さっていること
を信じ、思い出して神様に感謝をなさいます。と言われたのです。

これを<聖餐>と言います。

堺教会でも毎月第一日曜日に聖餐をいただきます。

この聖餐をいただくと心が幸せな気持ちでいっぱいになります。

それは、イエス様の十字架と復活の恵みを思い出すことができるからです。

でも聖餐は誰でもいただけるわけではありません。

イエス様を信じ、告白して<洗礼>をうけた人にだけあたえられる大切な恵みです。

神様を信じる私達にとって、この<洗礼>と<聖餐>はとても大切なくしるし<すゝめ>です。

教会学校に来ているみんなが、いつかこの恵みにあずかることができますように。

これは教会学校の先生達みんなの願いですし、もちろん神様も願っておられます。

たまき さちよ せんせい
(おはなし 玉置 幸代先生)